

転機の大学

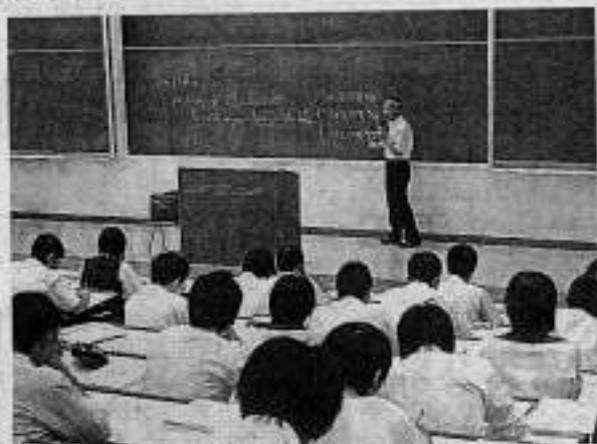
島根県立大学統合法人化の行方

◆中◆

文科省が予算を重点配分する大学の教育支援プログラム「特色GP」と「現代GP」(GPレグ)の応募は本年度、計八百九十六件。優れた教育研究を擁するGPなどの開かれた島根女子短大主催のフォーラム。

魅力づくり

値になった。受験生も内情に目を凝らしている。七月の県立大オープンキャンパスに訪れた江津市の男子高校生(17)は「竹島や北朝鮮問題など、北東アジアは日本にとって重要な地域」と大学の特色に魅せられて志



島根県立大学のAO入試で、総合政策学を学ぶ学生。大学の特色を理解してもらい、意欲ある学生を募集している。島根県立大野原町、野原町

特色磨き相乗効果を

「改革疲れを聞くが、一國たりとも休むことなく、より良い方向へ向かうことが求められる」

支援策は、経営を支える。望。松江市の女子高校生

「ログラム」が採択され、定員充足率100%以上という一員、当たり

の面割見がいい大学を自ら指したい」と強調する。

初会合で「この機会にわれわれは協働して将来に夢を持つ」と訴えた。や

「改革疲れを聞くが、一國たりとも休むことなく、より良い方向へ向かうことが求められる」

外部資金になると同時に、教員や学生を集め、ついで「就職と、国際的な視点での教育が充実しているか」を挙げた。

「ログラム」が採択され、定員充足率100%以上という一員、当たり前の数値をあえて設定し

「この機会にわれわれは協働して将来に夢を持つ」と訴えた。や

初会合で「この機会にわれわれは協働して将来に夢を持つ」と訴えた。や

メモ

大学全入時代 推計では07年度には、大学志願者数と入学定員が67万4千人で同数になる。県内でも今後10年間で、18歳人口が1500人減少。入学定員を確保できなければ、授業料収入が落ち込むだけでなく、外部評価は厳しくなる。各大学は、留学生の受け入れ強化、私大の小学校開設、面接や小論文などで評価するAO入試の拡充など、学生獲得策に乗り出している。

「これほどの距離の差を埋めるのは難しい。専門分野の特殊性もあり、単純に一緒にとりわけにはいかない」と、組織運営ワーキンググループ(WG)代表を務める別枝行夫県立大教授。各WGでは、苦悩しつつも、教員による企業訪問の連携など、就職対策の充実を検討。教育面でも、それぞれ足りない分野への教員の相互派遣、短期大学部から県立大の編入学、単位互換制度創設などを進めていく。

中には「従来もできたのに、進まないのは、メリットが見いだせないから」冷めた見方もある。同じ県立でも、大学間交流は皆無に等しかった。準備委の委員長を務める宇野重昭県立大校長は初会合で「この機会にわれわれは協働して将来に夢を持つ」と訴えた。や

「この機会にわれわれは協働して将来に夢を持つ」と訴えた。や

初会合で「この機会にわれわれは協働して将来に夢を持つ」と訴えた。や